

森林資源と人材を軸に地域課題の解決へ 宮崎県 諸塚村と飛驒産業が包括連携協定を締結

飛驒産業株式会社（本社：岐阜県高山市 代表取締役社長：岡田 明子/以下当社）は、宮崎県 諸塚村と、共働による事業活動を通じて、地方創生や SDGs に関わる人材育成、ならびに地域の活性化を図ることを目的とした「包括連携協定」を2026年2月4日(水)に締結しましたので、お知らせいたします。



諸塚村産コナラ材で製作した家具と諸塚村村長 藤崎猪一郎氏(写真左)、当社 岡田明子(写真右)

本事業について

本協定は、共働による事業活動を推進し、地方創生や SDGs に関わる人材育成、ならびに地域の活性化を図ることを目的としています。当社が培ってきた国産材を活用する技術力を活かし、国産広葉樹を家具に再生する新たな循環型社会の構築に繋がる取り組みです。

元々しいたけの原木として活用されてきた諸塚村のコナラは、原木の需要の低下とともに伐採されずに放置されるようになりました。放置された樹木は成長して径が大きくなることで本来の用途である原木としての使用に適さなくなり、家具に活かせる可能性を持ちながらも、チップにしてバイオマス由来のパルプ等にされてきました。そこで、径が大きくなり、しいたけの原木として活用できなくなったコナラを「新たな資源」として家具製作に活用することで、国産広葉樹の新たな価値を創出することとしました。

HIDA

協定名称 : 包括連携協定

協定締結日 : 2026 年 2 月 4 日 (金)

連携事項

- (1) 木材資源や森林認証製品の開発、利活用、普及に関すること
- (2) 地域資源の保全、持続可能な生産推進および利活用に関すること
- (3) 人材育成のための双方の職員や関係団体等の研修および交流に関すること
- (4) SDGs の 17 の目標とターゲットに関すること
- (5) 連携して官公署及び団体等に対して提携製品の販売促進を展開すること
- (6) その他、本協定締結後に双方の協議により合意した連携事項に関すること

今後予定している取り組み

- ・「WOOD コレクション (モクコレ) 2026」2026 年 2 月 12 日(木)~2 月 13 日(金) にて展示
- ・対象森林は FSC®認証を取得しており、当社工場も FSC®認証材の対応が可能であることから、今後、本商品を FSC®製品として対応可能

飛驒産業について

1920 年に飛驒高山で創業した木工家具メーカー。2020 年に創業 100 周年を迎え、「匠の心と技をもって飛驒を木工の聖地にする」という志 (企業ビジョン) を掲げ、「人を想う」「時を継ぐ」「技を磨く」「森と歩む」の 4 つの価値観に基づく事業を展開しています。

飛驒産業が展開する木工家具ブランド HIDA では、4 つの価値観のもと、未来へと繋がる持続可能なものづくりを目指しています。



HIDA

■本件に関するお問い合わせ先

飛驒産業株式会社 デザイン室 広報担当 平田 TEL : 0577-32-1004 FAX : 0577-34-9185

e-mail : pr@hidasangyo.com URL : <https://hidasangyo.com>